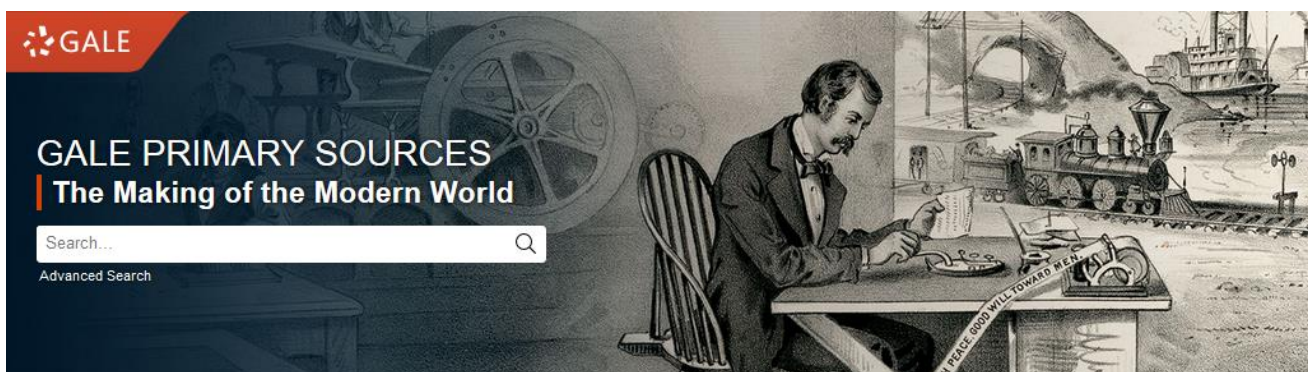


◆15 世紀半ばから 20 世紀半ばまでの 500 年間の経済学と隣接諸学の文献を収録

経済学史・経済史古典文献集成 オンラインデータベース The Making of the Modern World

世界的に著名な第一級のコレクションの
経済と社会の歴史に関わるあらゆる文献を網羅したデータベース



経済学史・経済史古典文献集成(**The Making of the Modern World, MOMW**)は、15 世紀半ばから 20 世紀半ばまでの 500 年間にわたる社会経済史関係の欧文刊行物約 87,000 冊を搭載するシリーズです。原本所蔵機関は**ロンドン大学ゴールドスミス文庫**をはじめ、**ハーバード大学クレス文庫**、**コロンビア大学セリグマン文庫**、**広島経済大学セリグマン文庫**、**カンザス大学経済学史コレクション**など世界的に著名な第一級のコレクションとなっており、経済と社会の歴史にかかわるあらゆる文献が網羅されています。

収録資料は、古くはルネッサンスの時代の政治・社会思想から、経済学の制度化が本格的に始まる 20 世紀前半までの経済学の古典に加え、貿易、農業、製造業、人口、救貧法、植民地、交通、船舶、奴隷貿易、通貨、金融など、近代経済史、経営史の主題に関するあらゆる文献を網羅します。地域的には、イギリス、フランス、イタリア、オーストリア、ドイツ、スウェーデン、アメリカから、オランダ、ベルギー、スペイン、ポルトガル、ノルウェー、デンマークまで、欧米全域に及ぶほか、戦前の日本の経済学者がドイツ語や英語で刊行した著書も収録されています。

◆The Making of the Modern World 価格表

FTE	<5,000	5,001-15,000	15,001-30,000	30,001+
Part I, The Goldsmiths'-Kress Collection, 1450-1850	価格は弊社までお問い合わせください			
Part II, 1851-1914				
Part III, 1890-1945				

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

※ホスティングフィー等、別途費用の詳細お問い合わせは弊社まで。

無料トライアル実施中!! 詳細お問い合わせは弊社まで

日本指定代理店 **極東書店**

FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
 〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル
 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761
 075(353)2093 FAX (353)2096
 092(751)6956 FAX (741)0821

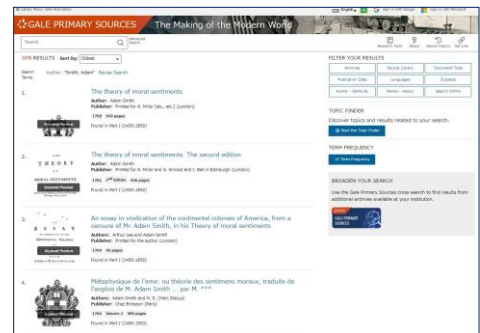
 URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>

 E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp


経済学史・経済史古典文献集成(MOMW)第1部: ゴールドスミス文庫、クレス文庫 1450-1850 年 The Making of the Modern World, Part I: The Goldsmiths'-Kress Library of Economic Literature, 1450-1850

経済学史・経済史古典文献集成(MOMW)シリーズ第1部はロンドン大学ゴールドスミス文庫とハーバード大学クレス文庫の二大文庫をデジタル化、15世紀半ばから1850年までの刊行物約67,000冊を収録します。MOMWシリーズ中最大の分量をほこる第1部の原本を提供する両文庫はともに、20世紀前半のイギリス経済学界の重鎮、ハーバート・フォックスウェル(Herbert Foxwell, 1849-1936)が生涯を捧げて収集した書籍やパンフレットのコレクションをベースとして形成されたものです。

両文庫の特色として、経済学史・社会経済史の全体を熟知したコレクター(フォックスウェル)による非常に質の高いコレクションであることと、経済思想史・社会思想史・政治思想史にかかわる著作のみならず、様々な政治主張や論争を繰り広げた無名・匿名のパンフレット・陳情書、農工業の手引書、実用書、技術書、説教、演説、会社史、金融史、地方史、都市計画、探検記、百科事典など、およそ人の営み全般に関わる資料が網羅的に集められていること、そして英語文献に限らず、フランス語、ドイツ語など西欧語の文献全般が集められていることなどが挙げられます。



【ロンドン大学ゴールドスミス文庫】

ケンブリッジ大学等で教鞭を取り、『エコノミック・ジャーナル』の創刊やイギリス経済学会の創設に関わり、学会の会長を歴任した20世紀前半のイギリス経済学界の重鎮ハーバート・フォックスウェルが生涯を捧げて収集した書籍やパンフレットのコレクションをベースとして形成されたものです。フォックスウェルが四半世紀をかけて収集したコレクションをゴールドスミス商会が買い取り、ロンドン大学に寄贈したため、「ゴールドスミス文庫」と呼ばれています。

フォックスウェルが売却を決意した当初、イギリス国内では買い手が見つからずアメリカに売却されようとしていたとき、イギリス経済学会が国外流出の危機を『タイムズ』紙上で訴え、『タイムズ』も国内有志による購入を呼びかける社説を掲載、それによってゴールドスミス商会が名乗りを上げ国外流出が阻止されたというエピソードは有名です。

ゴールドスミス文庫は、その後もフォックスウェルの指導の下、ゴールドスミス商会からの助成や図書館予算によりコレクションの拡充に努めます。20世紀を代表する経済学者で、自身も稀覯書に対する造詣が深かったケインズはフォックスウェル追悼記事の中で、ゴールドスミス文庫をフォックスウェル畢生のライフワークの賜物として、惜しみなく讃えています。

【ハーバード大学クレス文庫】

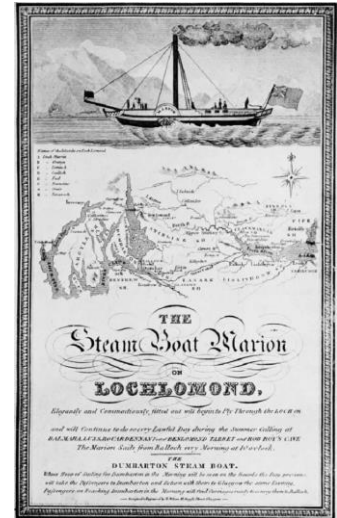
自身のコレクションを売却したフォックスウェルは第二のコレクション収集に情熱を傾けます。30年間ほど費やして収集されたコレクションは百貨店を営むクレス商会の会長クロード・ワシントン・クレスの寄付によりハーバード大学バーカー図書館に寄贈されました。クレス文庫は、経営史、経済史の分野が特に充実しています。



経済学史・経済史古典文献集成(MOMW)第2部: ゴールドスミス文庫、クレス文庫、セリグマン文庫ほか 1851-1914 年 The Making of the Modern World, Part II, 1851-1914

経済学史・経済史古典文献集成(MOMW)シリーズの第2部は、1851年から1914年に刊行された資料4,900冊以上を収録します。これは、もとの収集方針から1850年までの資料に限定されていた第1部を引き継ぐもので、第1部の収集者であったフォックスウェルと並び称せられる経済学者・収集家のエドウィン・セリグマン旧蔵書から成るコロンビア大学および広島経済大学の両セリグマン文庫、カンザス大学図書館所蔵経済学史コレクション、そしてフォックスウェルによる寄贈後に収集されたゴールドスミス文庫の蔵書から、第1部同様に社会・経済のすべての側面に迫る多様な資料群をデジタル化しました。

第2部のカバーする19世紀後半から20世紀初頭は、技術革新と工業化を推し進める西欧の軍事的・経済的優位が拡大し、市場拡大や資源獲得をめざしてアジア・アフリカに進出した列強により、東西・南北の世界がはげしく揺れ動いた時代でした。アジアにおいては、維新を契機とした日本の急速な近代化、清朝の衰退と列強による中国分割、インドの英領化、東南アジアをめぐる列強の争いなどにより、アジアが欧米を中心とする世界経済に否応なく組み込まれ、現代へと尾をひく様々な問題の火種がまかれました。また、鉄鋼・石油・鉄道・通信などの新産業においては巨大資本が台頭し、経済・金融の国際化により本位貨幣や外国為替などの問題が論議され、19世紀末には欧米において初めての世界的な大不況が起こった時代でもあります。この時期の社会科学文献を網羅するMOMW第2部は、現代へと連なるグローバル経済のルーツを探る上で不可欠な資料集成であるといえます。



【コロンビア大学・広島経済大学セリグマン文庫】

コロンビア大学で長く教鞭を取り、租税学や経済学史の分野で大きな業績を残した20世紀前半のアメリカ経済学界の重鎮エドウィン・セリグマン(Edwin R. A. Seligman, 1861-1939)が収集した書籍やパンフレットのコレクションです。フォックスウェルとほぼ同時期に約50年にわたり文献を収集したセリグマンのコレクションは世界的にも知られ、売却時にはハーバード大学、ソ連政府、日本政府など米国内外から購入の申し出がありましたが、セリグマンは自身が長く教鞭をとったコロンビア大学を売却先を選びました。また、セリグマン旧蔵コレクションの一部は、広島経済大学が所蔵しています。

【カンザス大学経済学史コレクション】

カンザス大学で長く教鞭を取った経済学者リチャード・ホーウィー(Richard S. Howey, 1902-1993)は経済学研究と教育のかたわら、カンザス大学図書館の経済学史関係資料の収集にも携わりました。ホーウィーが収集したコレクションは、特に1851年以降に刊行された文献が充実し、ハーバード大学クレス文庫の司書を長く務めたケネス・カーペンターは、このコレクションを「1851年以後のコレクションとしては他の追随を許さず、1850年以前の文献が充実しているクレス文庫と相互に補充しあう関係にある」と評しています。

経済学史・経済史古典文献集成(MOMW)第3部: ゴールドスミス文庫 1890-1945 年 The Making of the Modern World, Part III, 1890-1945

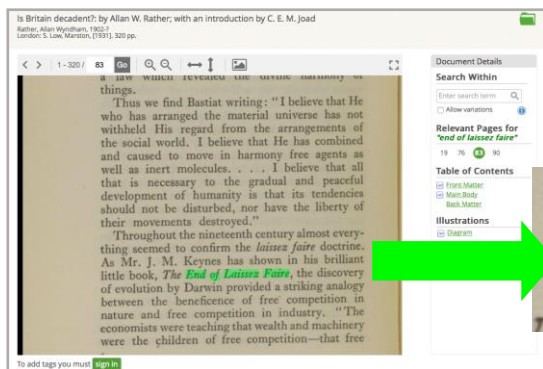
経済学史・経済史古典文献集成(MOMW)の第3部ではゴールドスミス文庫の所蔵資料からこれまでに未搭載の **5,500冊以上の文献を新たにスキャン**しました。これにより収録範囲が 1945 年までに拡大され、20 世紀の文献が格段に増加しました。また、第1部、第2部がマイクロフィルム版からのスキャンであったのに対し、第3部では主にマイクロフィルム版刊行後にゴールドスミス文庫によって収集された資料を原本から直接、カラーでスキャンしているため、より鮮明な画像でご覧いただけます。

限界革命からケインズまでの近代経済学の古典から、年金、家族給付、公的住宅など福祉国家論の古典、さらにはフェビアン協会ら社会主義の古典まで、歴史としての20世紀を論ずる上で不可欠の文献が目白押しです。第3部では、ゴールドスミス文庫に所蔵されている19世紀末から20世紀前半にかけての文献を電子化することにより、経済学と隣接社会諸科学の20世紀前半における展開を一望の下に収めることを試みます。

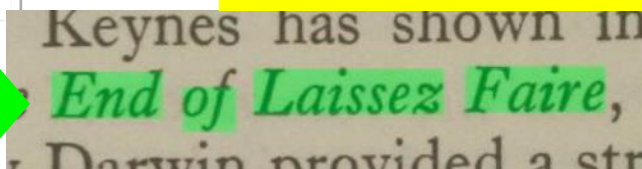
【データベース収録期間の時代背景】

繁栄を謳歌したイギリスは 1870 年代以降の大不況とドイツ、アメリカなど新興工業国の追い上げにより、国際競争力が低下、植民地獲得に乗り出し、海外への投資からの収益に新たな経済の活路を見出していました。国内では1870年の初等教育法以後の義務教育を受けた世代が社会の中堅を担い始める一方で、19世紀後半の選挙制度改革により参政権が付与された労働者が政治勢力として無視し得ない状況が生まれました。この時代に労働者階級を代弁すべく形成されたマルクス主義は、ドイツでは社会民主党の下で大きな政治勢力を形成しますが、イギリスではマルクス主義に批判的な社会主義団体フェビアン協会が唱える漸進的な改革路線が支持を集め、その影響下に労働党が創設されます。労働者が大きな政治勢力になる中で、政府としても貧困問題を放置したままでは許されない状況が現れます。ここに19世紀的な自由放任思想は放棄され、国家が貧困層や高齢者の最低限の生活を保障する発想が生まれ、年金制度や生活給付制度が論議され、20世紀初頭には老齢年金法や国民年金法などの社会立法として制度化されます。第二次大戦中のビヴァリッジ報告を経て20世紀後半に制度化する福祉国家の起源はこの時期に求めることができます。

学問としての経済学に目を転じると、科学万能の時代思潮を受けて、科学的方法に則った経済学がこの時期に志向されます。また、純粋経済学という呼称に象徴されるように、道徳科学や政治経済学や歴史的アプローチから離れて、経済学が自立化の傾向を見せ始めるのもこの時期です。経済学の自立化傾向は大学教育の場に顕著に現われ、フランスでは1895年に経済学博士号が創設され、経済学の先進国イギリスではケンブリッジ大学でマーシャルの尽力により1903年に至りようやく、経済学トライポス(優等卒業試験)が確立し経済学専修課程が成立します(東京帝国大学で経済学部が創設されるのは1919年)。20世紀後半に社会科学の女王として君臨する経済学の制度化はこの時期に軌道に乗り始めました。



一字一句をフルテキスト検索できます
検索語はハイライト表示されます



The Making of Modern World の収録文献の詳細は弊社まで



株式会社 極東書店

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル

TEL: 03-3265-7531 FAX: 03-3556-3761 <https://www.kyokuto-bk.co.jp> E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp